

A 71-Year-Old Woman with Urinary Incontinence and a Mass in the Bladder

尿失禁と膀胱腫瘤を認めた 71 歳女性

(Case 6-2006 Vol. 354(8))

【症例】71 歳 女性

【主訴】他医にて膀胱悪性腫瘍と診断され、手術 or 化学療法を進められた。セカンドオピニオンを得たい。

【現病歴】

6 ヶ月前、尿失禁が突然出現した。そのひと月後、近医を受診したところ、他の失禁外来クリニックを紹介され、そのクリニックを紹介受診した。さらに、別の病院を受診し、エコー検査、CT 検査、TUR 生検、産婦人科的診察を受けた。骨盤 CT 上、両側水腎症、両側卵巣腫瘍、大動静脈 aortocaval リンパ節腫脹、膀胱壁の前面/後面/左側面の非対称的な壁肥厚を認めた。膀胱内腫瘤の TUR 生検切片の組織診では、移行上皮癌グレード 3 (粘膜固有層への浸潤を伴う) と診断された。また尿管の狭窄が認められた。

患者は、その病院では、根治的膀胱切除術(radical cystectomy)をすすめられた。しかし、患者が腫瘍専門医 oncologist に相談したところ、卵巣への転移が認められ、またリンパ節へ転移している可能性もあるため、化学療法を先に行うほうがいいとのコメントを得た。

セカンドオピニオン希望にて、当科受診した。

【既往歴】49歳(22年前)：乳ガン

リンパ節転移(+)。根治的乳房切除術 + 化学療法(cyclophosphamide, methotrexate, fluorouracil)。その後、フォロー。現在に至るまで再発の徴候なし。当科受診の 3 ヶ月前のマンモグラフィーで異常所見なし。

【家族歴】

姉：乳ガン、卵巣癌

母：肺ガン

いとこA(母方)：膵臓癌

いとこB(母方)：膵臓癌

叔母(母方)：骨髄腫

祖母(母方)：子宮癌

患者本人と姉の遺伝子に *BRCA1* 遺伝子の missense mutation があることが分かっている。(*BRCA2* は二人とも正常)

【入院時現症】

バイタル異常なし。the patient appeared well, and her vital signs were normal.

左乳房異常なし。右乳房に prosthetic breast implantation.

表在リンパ節の腫脹なし。

腹部異常なし。下肢の浮腫なし。その他全般に異常なし。

【入院時検査所見】

血算、電解質 基準値範囲内。

生化学 (Cre, BUN, TP, alb, Glob, Bil) 基準値範囲内。便 χ カツ (-)。

【婦人科診察】

子宮頸部正常。膣・膀胱前壁に著明な壁肥厚を認める。ダグラス窩腫瘍なし。骨盤内腫瘍を触知せず。子宮頸部擦過細胞診 (-), 子宮内膜生検 (-), 子宮内膜分泌物細胞診 (-)。

【経膣エコー】

不均質な子宮筋層を認める (左側類線維腫、両側付属器充実性腫瘍)

【CT】

両側水腎。両側卵巣充実性腫瘍 (rt. 4.4x2.5cm, lt 5.6x4.5)。aortocaval lymph node 腫瘍 1.5cm。膀胱壁の前面/後面/左側面の非対称的な壁肥厚。肺異常影なし。骨転移なし。

【MRI】

左付属器腫瘍（4.2x4.8cm）、子宮への浸潤あり。

右付属器腫瘍。左と同様の信号強度だが、子宮への浸潤なし。膀胱壁肥厚を認める。

【膀胱鏡検査】

膀胱前壁の粘膜が肥厚し、friable（もろい）になっていた。筋壁はゆがみ、かたい浸潤性の腫瘍によって置き換えられていた。また、両側の尿管の狭窄が認められたため、両側にステントを留置した。

【病理組織診】

膀胱内腫瘍のTUR生検切片組織診にて、移行上皮癌グレード3（粘膜固有層への浸潤を伴う）と診断された。

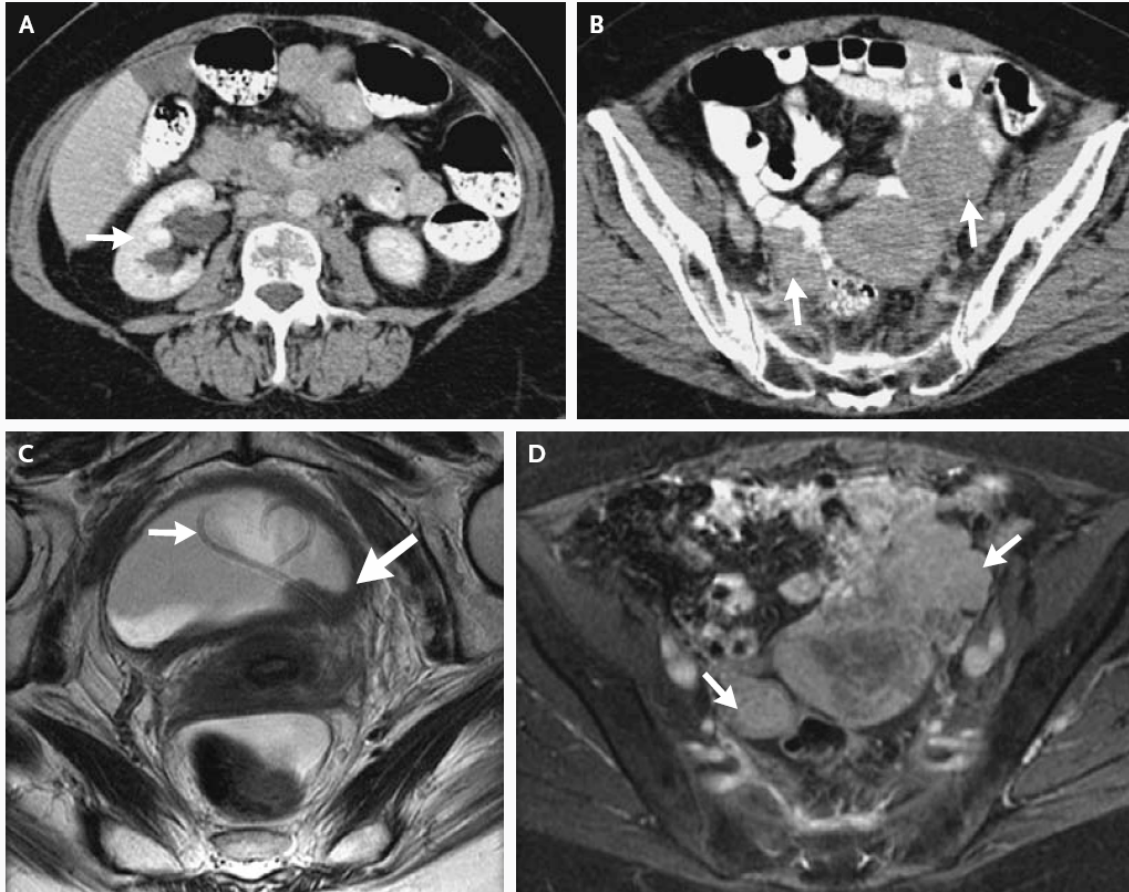


Figure 1. Radiographic Images of the Abdomen and Pelvis.

Axial CT images of the abdomen obtained after the intravenous administration of contrast material (Panels A and B) show hydronephrosis (Panel A, arrow) and bilateral solid ovarian masses (Panel B, arrows). An axial T₂-weighted MRI examination of the pelvis (Panel C) shows left lateral and posterior thickening of the bladder (large arrow); ureteric stents are visible in the bladder (small arrow). An axial image obtained after the administration of gadolinium (Panel D) shows bilateral adnexal masses (arrows); lack of an anatomic plane between the left adnexal mass and uterus indicates invasion of the uterus.

【入院後経過】

ある診断的手技が施行された。